

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん専門病院における婦人科・乳腺外科患者に対する管理栄養士介入の現状
	研究目的	婦人科がん、乳がん治療中の栄養状態に影響を及ぼす要因は、化学療法時の副作用による嘔気や味覚障害、食欲不振、婦人科がん術後のイレウスなどがあげられる。また、肥満は乳がんのリスク因子であり、肥満を持つ患者は術後も二次的な合併症予防のため適切なエネルギー摂取で肥満を避けることが望ましい。さらに、婦人科・乳腺外科の患者は家庭での調理担当者であることが多く、食事・栄養に対する興味関心も高い。当センターでは平成 29 年度より管理栄養士が病棟配置となり、治療を受ける患者への栄養指導のルーチン化を行い、栄養管理の充実を目指して活動しているため、現状について調査し今後の指導に活かすことを目的とする。
	研究対象者	2017 年 4 月～2018 年 3 月に入院した婦人科・乳腺外科の患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2018 年 9 月 28 日～西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	阿部 菜里
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	栄養管理科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし